

たき  
滝まさ ひろ  
勝 弘にほんきょうさんとうつしぎだん  
日本共産党津市議団

### 下水道使用料約27%値上げは急激な負担増だ

**問** 下水道使用料の約27%引上げは、消費税増税分と合わせるとほぼ3割もの大幅値上げである。下水道はまだ一層普及が必要であるが、これにより公共下水道への移行をためられる可能性もある。使用料を上げて普及率が伸びなくては何のための料金改定なのか。

合併後13年間対策を講じず、市民に大きな負担を強いるのは受け入れられない。

### 全国的な平均150円に値上げをお願いしたい

**答** 国の有利な補助事業の積極的な活用、外部委託の推進、職員体制の効率化など経営改善に取り組み、可能な限り、市民に負担を求めないように努力を重ねてきたが、いよいよ立ちいかなくなってきている。下水道使用料収入によって維持する本来の姿に近づけるべく、汚水処理原価の1㎡当たり177円への引き上げをしたいが、急激な値上げを避けるため、総務省が定める基準で、全国的な平均の150円への値上げを提案しているところである。また、供用開始後、3年以降未接続の方には、下水道事業基本計画に基づき、普及啓発や丁寧な説明をし、普及率向上に努めていく。

### ●その他の質疑・質問●

○危機管理型水位計の設置について、地域へ情報提供をするとともに、県政要望の行方にきちんと関心を持つように

○中学生の職場体験学習について、事業所の選定は、そこで学ぶ内容との関係で必要な配慮を  
○地域ホールは、気軽に練習にも使える位置づけに工夫をし、改修は教育委員会とも連携をとって進めよ



▲地域ホールの中でも改修が急がれる河芸公民館

くら た かん じ  
倉 田 寛 次しみん  
市民クラブ

### 森林整備についてしっかりとしたビジョンを

**問** 今年度から森林環境譲与税が創設され、初年度は約5,000万円が津市へ交付される。

この森林環境譲与税を活用して、今年度から施行された森林経営管理法に基づく、森林所有者の意向調査、境界の明確化、現況調査などを行うというが、津市の森林整備について、もっと、しっかりとしたビジョンを持つべきと考えるがどうか。

### 芸濃地域から事業着手を考えている

**答** 森林環境譲与税を活用した津市の森林整備を進めるに当たり、森林経営管理法に基づく経営管理権集積計画の策定に係る森林所有者の意向調査等について、まずは、芸濃地域から事業着手を考えている。

芸濃地域については、間伐等を行うための森林経営計画の策定が進んでおらず、森林整備が遅れている中で、安濃ダムへの土砂流入による堆砂が大きな課題となっている。山林からの土砂の流出は、森林の荒廃が一因となっていることから、管理の行き届いていない山林を整備することが緊急の課題となっており、この新たな制度により進めることが有効であると考えている。

### ●その他の質疑・質問●

○レークサイド君ヶ野の調理員確保について

○森林セラピーの身体障がい者向けコースについて

○美杉地域の津市家庭医療クリニックについて

- 医師の確保の状況は
- 無医地区に係るコミュニティバスの再編は

○廃プラスチック処理に係る国からの通知に対する考えは



▲森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づく整備を